

センターだより

第8号

令和2(2020)年1月24日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

一人一人が豊かに生きていく社会を実現するために ～新学習指導要領、完全実施に向けて～

所長 草場 敦子

令和2年(2020年)がスタートいたしました。新しい暦には、未知の時間がつまっています。これから向かう未来は、これまでの延長線を大きく超えた劇的な変化が訪れるであろうとされ、一抹の不安があるものの、同時に夢や期待感もあります。

さて、いよいよ4月より、小学校にて新学習指導要領が完全実施となり、中学校においては、令和3年度(2021年度)の完全実施に向けての移行期間最後の1年となります。

新学習指導要領は、子供たちの学びを支える重要な役割を担うだけでなく、子供たちが身に付ける資質・能力や学ぶ内容・学ぶ方法などの学校教育における学習の全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」としての役割としても期待されています。各校におかれましても、子供たちに未来を創り出す力を育てていくことができるよう、学校教育の改善、とりわけその中核となる教育課程の改善を進めていることと思います。

これからの社会の在り方を展望し、学びの方向を示す報告書「Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」においても、「Society 5.0の姿をしっかりと見据えつつ、決して浮足立つことなく着実に新学習指導要領の理念を実現することが求められている」と新学習指導要領にふれて明記されています。また、ICTを活用できる環境の整備や、「教育や学習を科学する視点」をもつことについても明記されています。

現在、教育センターでは、令和2年度(2020年度)から使用できるよう、電子黒板機能付きのプロジェクタと無線LANアクセスポイントを吹田市内の全小中学校の普通教室に順次設置しております。4月の運用開始に向け、授業における効果的な活用に向けて御準備いただきたいと考えており、教育センターとしても後押しできるよう取り組んで参ります。

それ以外にも教育センター新規事業として、いじめ予防やいじめ対応に科学的視点からアプローチする「いじめ予防推進事業」がスタートいたしました。今年度は教育委員会指導主事等を対象とした研修を実施いたします。各校でのいじめ予防や集団づくりの取り組みを支援できる事業になりますよう次年度に向けて準備を進めて参ります。

これからの時代に即した教育実践となるよう、新しい情報の把握や調査、分析・発信を行い、未来を創る子供達のための教育を支援できるよう、引き続き尽力していききたいと考えております。

吹田市出身で、ノーベル化学賞を受賞された吉野彰さんの言葉から・・・。

「われわれ人類は自然現象の中で本当に理解してるのは、たぶん1%か2%くらい。

98%、99%は未知の哲学の状態で、いろんなことが横たわっている。

チャレンジすれば必ず誰かがとんでもないものを見つける、とんでもない発明をする、
そういうことをぜひ伝えたい。」

世界には、未知なるものがまだまだたくさんあることを、未来を創る子供たちに伝えていきたいですね。

いじめ予防推進事業

今年度より、いじめ対応やいじめ予防を目的とした「いじめ予防推進事業」がスタートいたしました。

今年度は、教育委員会事務局指導主事等を対象として「いじめ予防専門研修」を実施し、いじめ事案に対してより効果的に支援できるようにしていきます。

1月10日（金）より研修がスタートし、研修講師である「（公益社団法人）子どもの発達科学研究所」の和久田学先生より、いじめ予防について先進的な研究を行っている欧米諸国の研究について教えていただきました。

いじめが深刻化するキーワードとして挙げられている『アンバランスパワー（人間関係における力の差）』や『シンキングエラー（間違った考え）』、『RTI（指導に対する反応）モデル』の活用、疫学統計学によるいじめの分析、『ABC分析』の活用など、いじめ予防に関する科学的な研究内容について学んでいます。

今後は、より専門的ないじめに関する知識を修得する研修が計画されています。

令和2年度以降学校現場にてこのような研修などを実施するため調整を進めていきます。



研修ピックアップ

【研修番号】230

【日時】2月3日（月）16:00～17:00

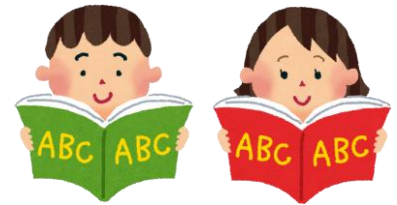
【場所】吹田市立佐井寺小学校 4年1組教室

【研修名】英語教育研修 ※小・中学校教職員対象

「小学校外国語の教科化に向けて 変わること・変わらないこと」
～中学校へのつながりを意識した授業づくり～

【講師】佐井寺小学校 教諭 和志武 玲子

【研修について】



いよいよ小学校外国語が教科化されます。これまでに実践してきた外国語活動とどう変わるのか、また引き続き大事にしていくところはどこなのか、授業実践例をもとに、わかりやすく学ぶことができる研修です。

講師の佐井寺小学校和志武先生は、教育センターの調査研究グループに所属し、「小・中連携を意識した新学習指導要領における英語教育の在り方について～英語でのやり取り・パフォーマンス評価・移行期教材の利用を中心に～」というテーマで、研究と実践を重ねてこられました。小学校だけでなく中学校の先生も進学してくる子供たちの授業の様子を学びませんか。今年度最後の教育センター主催英語教育研修です。たくさんの参加をお待ちしています！

キーワード 新学習指導要領 外国語教科化 小中連携 実践紹介 授業準備

経験年数の少ない教職員 Q&A (子供理解 編)

今月号は「子供理解」についてです。

Q

子供たちを理解することの難しさを感じています。働きかけに対する反応が少ない子供の考えや気持ちはどうすればわかりますか。

反応が少ないことを気にするのではなく、そのような表現になっている原因に目を向けてみましょう。慣れるまでに時間がかかる、考えはあるけれどもうまくまとめて話すことが苦手、状況や話が理解できていない、周りの目が気になる等の理由が考えられます。言葉のやりとりでこたわらず、ノートや笑顔の瞬間から子供の気持ちを感じ取り、「あなたの気持ちを感じ取っているよ」ということを伝えてみましょう。



Q

こだわりの強い子供や、周りの流れに沿って行動することが苦手な子供にはどう対応すればよいですか。

「こだわり」は言い換えれば「自分の意思を明確に持ち、自己主張ができる」強みととらえることもできます。こだわりに対して共感を示し、無理に辞めさせる言い方をせず「○○のあとは□□に挑戦できるといいね」というように、自分の意思で行動できたと思える言葉かけが有効です。特別支援C o. の先生等にアドバイスをもらうのもよいですね。



委嘱研究学校の研究紹介

吹田市立吹田南小学校

12月12日（木）に開催された吹田南小学校の公開授業研究会に参加しました。



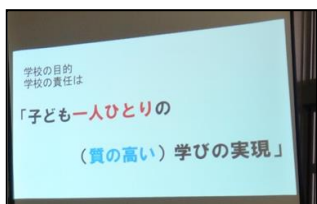
吹田南小学校は、平成29年度より、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「アクティブに学習する子供の育成～対話的な学習から深い学びへとつなげる～」をテーマに研究を進めています。

今年度から教科の枠をひろげて「学び合い」を主体とした授業づくりに取り組み「聴く」「つなぐ」「もどす」を意識したペア学習、グループ学習を授業の中に取り入れて実践されています。

研究授業「はしたの大きさの表し方を考えよう～分数を使って～」では【 $\frac{3}{4}$ mを作ろう】を題材に、2mのテープを使って、グループ活動で話し合い発表をしました。「なぜ？」を共有する場面を取り入れ、安心して「わからない」をクラスで共有し、対話しながら理解を深める学習活動でした。

研究協議では、1.「どこで児童が学んでいたか」2.「なぜ学んでいたのか、なぜ学んでいなかったのか」3.「この授業で自分自身が学んだことは何か」を討議の柱として協議しました。研究協議参加者からは、「授業者の発問を聞いて、前の授業でやったノートを見返して学ぼうとする子供の姿を見て、学びの積み重ねの大切さ、教材の工夫の大切さを再確認できた。」という声や、グループ活動を通じて子供の「なぜ」を深い学びにつなげる手立てについて等、活発な意見が出ていました。

講師の山本卓雄先生からは、学びに向かう姿勢や子供同士のつながり、グループ活動の活発さについて評価されていました。また、「子ども一人ひとりの（質の高い）学びの実現」のために、「協同的学び」と「ジャンプの課題」を子供の実態に即して取り入れることを助言いただきました。子供たちの学びを深めるためにどう手立てをすれば良いのかについて、参加者全員が協議する、充実した研究協議となりました。



情報機器の利活用

★ユニバーサルデザインフォントが使えるようになりました★

ユニバーサルデザインフォント（以下UDフォント）とは…

文字の形がわかりやすい、文章がよみやすい、読み間違えにくいユニバーサルデザインのフォントです。文字の中の空間を広くとったり、濁点を大きくしたりしていることが特徴です。

UDフォントがタブレットパソコンでも使用できるようになりました。WordやExcelだけでなく、PowerPointでも使用できます。4月から普通教室で固定式プロジェクタ、無線LANアクセスポイントが使用できるようになりますので、児童・生徒に提示する際や授業プリント、配布文書などにも御活用ください。

※校務系ではUDフォントは使えません。学習系のみです。

※今年度、配備したノートパソコンでもUDフォントが使えます。

MS 明朝

教育センター

MS ゴシック

教育センター

UD デジタル教科書体 NK-B

教育センター

UD デジタル教科書体 NK-R

教育センター



1・2月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等		会 場	日 時	対 象
令和元年度【吹田市立教育センター 教育研究報告会】				子育て青少年拠点 夢つながり未来館 ゆいびあ (多目的ホール・多目的 リハーサル室・多目的会議室)	1月29日(水) 14:00～17:00	教職員
キ ャ ー リ ア ス 研 修 ジ	ステップアップ研修Ⅰ (2年次)	99	1年間の実践報告 吹田市立教育センター 指導主事等	教育センター 研修室	2月14日(金) 15:45～17:00	平成30年度 小・中学校初任者教員等
ス ク ー ル リ ー ダ ー	スクールリーダーA (首席)	153	「学校教育で大切にしたいこと」 四天王寺大学 関西大学 非常勤講師 松田 忠喜	教育センター 情報科学室	2月6日(木) 15:30～17:00	首席
	スクールリーダーB (指導教諭等)	155	「指導教諭等として大切にしたいこと」(仮) ケイ ファクトリー 代表 佐野 智世	教育センター 視聴覚室	2月28日(金) 15:30～17:00	指導教諭等
教 科 ・ 領 域 別 研 修	英語教育研修	230	「小学校外国語活動の先進的な取組・実践紹介」 講師 佐井寺小学校 教諭 和志武 玲子 「小学校外国語の教科化に向けて 変わること・変わらないこと」 ～中学校へのつながりを意識した授業づくり～	佐井寺小学校	2月3日(月) 16:00～17:00	小・中学校教職員
		228	「新学習指導要領の実施における小・中学校英語教育について」 講師 追手門学院大学 教授 松宮 新吾	教育センター 視聴覚室	2月18日(火) 15:30～17:00	小・中学校教職員 小・中学校英語担当者会 と合同実施
教 育 研 修 支 援	特別支援教育 事例検討研修	214	事例検討研修(行動領域) 事例提供 市内学校園 助言 神戸親和女子大学 非常勤講師 森田 安徳	教育センター 視聴覚室	2月3日(月) 15:45～17:00	特別支援教育コーディネーター 教職員
	特別支援教育研修	206	「状況調査の結果と引継ぎについて」(共通研修④) 吹田市立教育センター 指導主事 加藤 弘靖	教育センター 研修室	2月18日(火) 16:00～17:00	特別支援教育コーディネーター
専 門 職 研 修	学校図書担当者 研修	251	「本が大好きな子供を育てるための学校図書館づくり」 吹田第二小学校(学校図書館モデル校) 教諭 百々 真紀子	教育センター 第1会議室	2月28日(金) 16:00～17:00	学校図書館担当者
	栄養教職員 研修	256	「食育指導者養成研修を受講して ～指導者に求められるもの～」 千里第二小学校 指導栄養教諭 遠藤 裕子	教育センター 第1会議室	2月20日(木) 15:30～17:00	栄養教職員

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

さつきらるーむ



初任者・経験年数の少ない教員が、授業づくりや
級づくり等の悩みを個別相談できるところです。

◆ 申し込み方法は次の2つの方法があります。

(1) 教育センター研修申し込みシステムを活用

【研修番号】700 【研修講座名】さつきらるーむ

※備考欄に、[①希望日時 ②相談内容 ③連絡先(メールアドレスまたは電話)]を記入

(2) 教育センター宛メールに以下の内容を記載して申し込む。

※送信先: ①校務支援システム(Te-Comp@ss) メールにて、初任者研修担当宛

②Webメール s-educ@city.suita.osaka.jp

[①メール件名: さつきらるーむ ②学校名 ③名前 ④希望日時 ⑤相談内容]

◆ 改めて、教育センター担当より、日時・内容について確認の連絡をします。

2月の相談日は
2月13日(木)、18日(火)
となります。

◆ 毎月第2火曜日・木曜日(原則)
17:30～18:30
※日時は相談に応じます。